

博士課程教育リーディングプログラム「グローバル安全学 トップリーダー育成プログラム」学生募集要項

- 博士課程教育リーディングプログラム
「グローバル安全学トップリーダー育成プログラム」学生募集要項 (PDF)
 - 出願書類一覧 (PDF)
 - (様式1) セレクションプログラム申請書 (Word)
 - (様式2) 履修願書 (Word)
 - (様式3) 出願理由書 (Word)
 - (様式4) 推薦書 (Word)



TOHOKU
UNIVERSITY



東北大学

Tohoku University

文部科学省 博士課程教育リーディングプログラム 複合領域型 (安全安心)
Program for Leading Graduate Schools, MEXT
Multidisciplinary Field of Safety and Security

グローバル安全学トップリーダー育成プログラム

Inter-Graduate School Doctoral Degree Program on

Science for Global Safety

募集要項

Application Guideline

平成25年度

Academic Year 2013

東北大学リーディングプログラム推進機構
グローバル安全学教育研究センター
宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉6-6

Organization for Promotion of Leading Graduate School Programs
Center for Education and Research on Science for Global Safety
Tohoku University
6-6, Aramaki Aza Aoba Aoba-ku, Sendai, Miyagi

グローバル安全学トップリーダー育成プログラムについて (アドミッション・ポリシー)

東北地域に甚大な被害を与えた東日本大震災から一年以上が経過するが、被災地域の社会基盤や産業基盤の本格回復には至っていない。さらには原子力発電所の再稼働を含めたエネルギー政策の大転換を議論せざるを得ない状況となっている。現在の状況は、我国の将来を決める決定的ターニングポイントに差し掛かっているといても過言ではない。本学は、被災地に位置する大学として、東北復興を先導する大きな責任を負っていると共に、強い社会的要請である安全安心な社会の実現に向けて強い使命感を持っており、安全安心な社会構築に貢献できるリーダー養成を本学の使命と認識している。

東日本大震災の教訓として、科学技術のみによる防災の限界と社会科学的視点からの減災の重要性が明らかとなった。このことから、大震災からの復興や今後発生が予測される多様なリスクからの被害を抑制するには、科学技術の活用と、それを人間起点で社会システムに取り入れるための人文社会科学分野の貢献が重要である。

本プログラムの人材養成目的は、我国や世界が直面する、巨大地震や津波などの自然災害あるいは気候変動、エネルギーセキュリティなどの多様なリスクの発生メカニズムを理解し、複数の Science discipline を合目的に統合して、防災および減災などのための工学的・社会科学的システム設計ができるグローバル安全学分野のトップリーダー人材を育成することである。この目的のために、科学・技術・人文社会科学の研究者が連携したプログラムにより、「安全安心を知る」、「安全安心を創る」、「安全安心に生きる」という3つの視点からリーダーを養成する。

本プログラムでは、地球惑星科学・環境科学をはじめとする自然科学、土木工学・都市・建築学・機械工学などをはじめとする工学、哲学・心理学・倫理・公共政策分野を中心とした3つの学術コアとその複合領域において、安全安心な社会構築の視点で東北復興の先導に貢献できる人材の育成や、人類社会の持続性に寄与すると共に、産業・社会システムの構築による安全安心な社会の構築に寄与できる人材育成を行う。

本プログラムでは、安全安心を「知る」「創る」「生きる」三つのユニットに対応して、次の3つのコースを設ける。

- 自然災害科学コース
- 安全・安心工学コース
- ヒューマンサイエンスコース

これらのコースにおいて、以下の能力をもつ人材（金平糖型人材）の育成を目指す。

- ・先鋭化された研究を通じた専門能力の核（コア）を有すると共に、多様な課題解決のための应用能力（シェル）を有する人材
- ・課題設定と問題解決、研究開発、事業展開、グラウンド

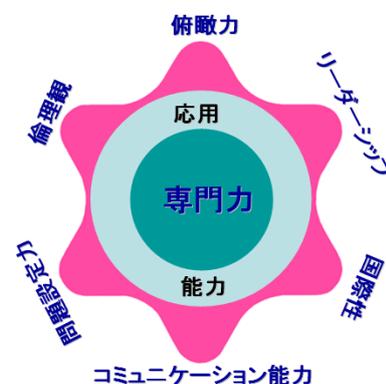


図1 金平糖型人材

デザインなどの筋道を自ら設定して実践する能力を有する人材

- ・ 事象を俯瞰して整理し、自身の考えを的確に相手に伝える能力を有する人材
- ・ 国際舞台でリーダーシップを発揮できる資質を有する人材
- ・ リーダーとしての倫理観と責任感を有する人材

上記の能力を持つリーダー人材において期待されるキャリアは以下のものを想定している。

- **「国際的企業リーダー」**：国際的視野を持ち自然災害や経済リスクなど多様なリスクに対して的確な評価と対策を行うことができ事業継続マネジメントが可能なリーダー
- **「アカデミックリーダー」**：コアディシプリンにおける国際レベルの研究者であると共に、広い視点から学問を教授できるリーダー
- **「国・地域防災リーダー」**：行政機関・研究所や防災センターなどにおいて国家や地域の防災政策をリードするリーダー
- **「国際的リスク管理リーダー」**：国際機関などで世界的視点から多様なリスクに対する危機管理が可能なリーダー

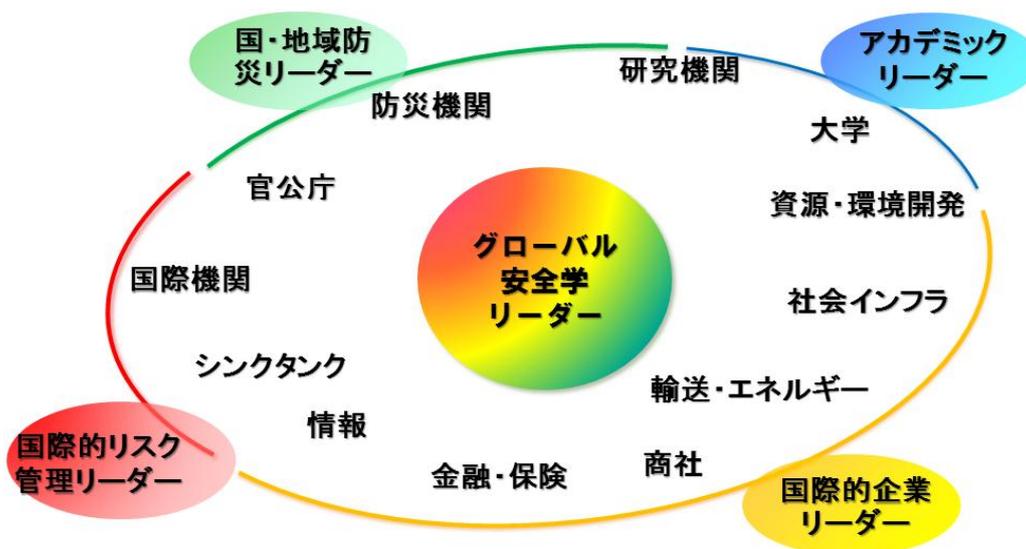


図2 修了後期待されるキャリアパス

I. 募集人員及び出願資格

I-1. リーディングプログラム院生の募集人員

リーディングプログラム院生（以下プログラム院生）は30名程度とする。

平成25年2月に実施するセレクションプログラム（100名募集）に参加し、願書を提出した学生に対して選抜を行い、4月以降のプログラム院生を30名程度選抜する。

I-2. 出願資格

- ・平成25年4月に表1の研究科・専攻の博士前期課程に入学予定の者。
- ・平成24年度に表1の研究科・専攻の博士前期課程1学年に在籍している者。

表1 グローバル安全学トップリーダー育成プログラムに参画している研究科・専攻

文学研究科	文化科学専攻、人間科学専攻
理学研究科	天文学専攻、地球物理学専攻、地学専攻
工学研究科	機械システムデザイン工学専攻、ナノメカニクス専攻、航空宇宙工学専攻、量子エネルギー工学専攻、電気エネルギーシステム専攻、化学工学専攻、土木工学専攻、都市・建築学専攻、技術社会システム専攻、バイオロボティクス専攻
情報科学研究科	応用情報科学専攻
環境科学研究科	環境科学専攻
医工学研究科	医工学専攻

II. セレクションプログラム参加者の募集

II-1. 申請書類

セレクションプログラム参加申請書を本プログラムのホームページより入手すること。

URL <http://www.g-safety.tohoku.ac.jp>

Ⅲ－２．出願手続

東北大学グローバル安全学教育研究センター事務室に、願書一式を調べて受付期間内に提出すること。

受付場所： 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉 6－6
東北大学工学研究科中央棟 3階 教務課内
東北大学グローバル安全学教育研究センター 事務室

受付期間： 平成 25 年 2 月 13 日（水）～ 2 月 20 日（水） 9 時～ 17 時
※郵送の場合も、2 月 20 日（水）必着とする。

出願者に対しては、後日メールにて受験番号を通知する。

Ⅲ－３．プログラム院生の選抜方法

出願者が提出する出願理由書及び願書・大学院入学試験の成績による書類審査、ならびに面接審査を行って選抜する。

※面接審査の詳細は、平成 25 年 2 月 13 日（水）から実施するセレクションプログラムにおいて通知し、面接は 3 月 1 日（金）に行う。

Ⅲ－４．プログラム院生の合格発表

平成 25 年 3 月 11 日（月） 15 時頃にグローバル安全学トップリーダー育成プログラムのホームページ上で発表する。

URL <http://www.g-safety.tohoku.ac.jp>

Ⅳ．キックオフシンポジウム

プログラム院生として選抜された学生は、以下の日程で開催されるキックオフシンポジウムに参加すること。

期間： 平成 25 年 3 月 16 日（土）～平成 25 年 3 月 17 日（日）
（1 泊 2 日で被災地巡検を含む）

※集合時間及び場所については、別途通知する。

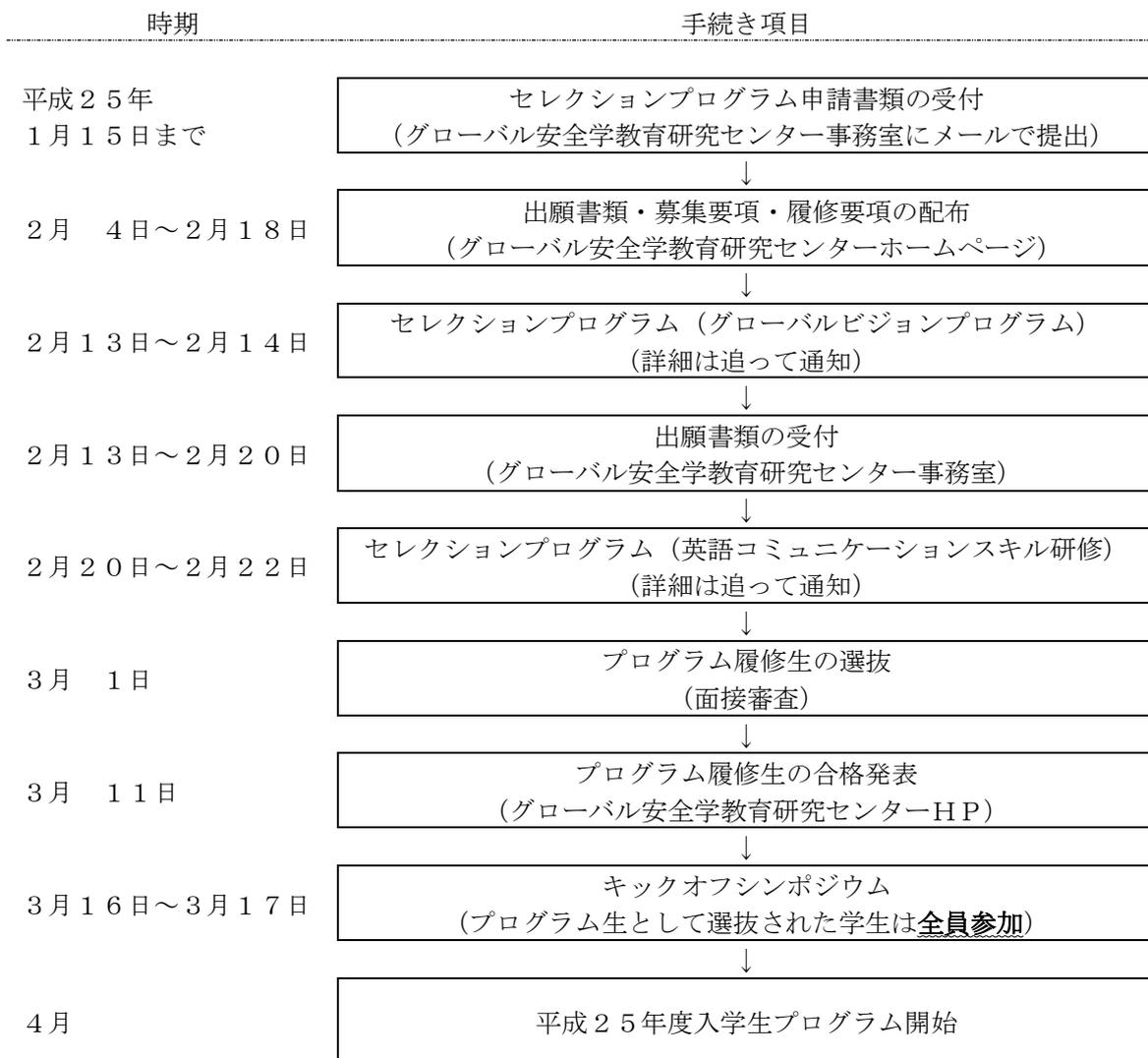
V. 奨励金の支給

国内外の優秀な学生を獲得し、主体的に独創的な研究を計画・実践させ、グローバルに活躍するリーダーを養成するため、新たな学位を授与するプログラムに選抜された優秀な博士課程学生への支援経費として奨励金を支給する。

支給金額については、選抜審査の成績等に基づき決定し、以後、毎年審査により支給金額を決定する。

VI. プログラム院生決定までの流れ

上記の手順を図示すると以下のとおりである。



グローバル安全学トップリーダー育成プログラム出願書類

①セレクションプログラム応募時提出書類：平成 25 年 1 月 15 日（火）17 時締切

書 類	注 意 事 項
セレクションプログラム 申請書（様式 1）	<p>所定の用紙に記入してください。</p> <p><u>グローバル安全学トップリーダー育成プログラムの履修を希望する学生は、必ず提出してください。</u></p>

②グローバル安全学トップリーダー育成プログラム出願書類：平成 25 年 2 月 20 日（水） 17 時締切（郵送の場合も 2 月 20 日必着）

書 類	注 意 事 項
履修願書（様式 2）	<p>所定の用紙に記入してください。</p> <p>英語能力検定試験の成績を記入する場合は、<u>スコア等を証明する書類の写しを添えて提出してください。</u></p>
出願理由書（様式 3）	<p>アドミッション・ポリシーを熟読した上で、所定の用紙に記入してください。</p>
推薦書（様式 4）	<p>出願者の大学院での受入れ予定教員が所定の用紙に記入し、<u>厳封の上</u>、提出してください。（自己評価は不可）</p>
成績証明書（学部時のもの）	<p>出身大学長等が作成したものを提出してください。</p> <p>平成 24 年度本学大学院在籍者の場合も、学部時の成績証明書を提出してください。ただし、リーディングプログラムの RA 申請時に提出した学生は不要です。</p>
学生証の写し	<p>【平成 24 年度本学大学院在籍者のみ】</p> <p>本学大学院の学生証の写しを提出してください。</p>

平成 25 年度 東北大学 グローバル安全学トップリーダー育成プログラム

セレクションプログラム申請書

合格研究科 (専攻)名	研究科	専攻	受験番号	
ふりがな 氏名			生 年 月 日	昭・平 年 (西暦 年) 月 日
固定電話	()	-		
携帯電話	()	-		
E-Mail				
東北大学大学院に在籍中の者は現在の学籍番号				
履 歴 書				
年 月	学 歴 (高等学校卒業以降について記入してください)			
年 月	職 歴			
グローバルビジョンプログラムに参加可能な日を で囲んでください。(2日間とも参加可能な場合は、両日とも で囲むこと)			2月13日(水)・2月14日(木)	

注) 印欄は記入しないでください。

平成 25 年度 グローバル安全学トップリーダー育成プログラム 履修願書

平成 年 月 日

(ふりがな) 男
氏 名 女

昭・平 年(西暦 年) 月 日生

(写真)

たて よこ
5 cm × 4cm上半身無帽像で3か月以内
に撮影したもの

グローバル安全学トップリーダー育成プログラムを履修したいので、所定の書類を添えて出願します。

合格研究科専攻		研究科	専攻	
本人	現住所	(〒 -)		
	固定電話	() -	本籍 (都道府県・ 外国人は国籍)	
	携帯番号	() -		
	E-Mail			
緊急連絡先	ふりがな 氏 名	本人との関係		
	現住所	(〒 -)	固定電話 () -	携帯電話 () -
英語力検定試験の成績(注1) (TOEIC、TOEFL)		TOEIC、TOEFL 点(受験日: 年 月 日)		
東北大学大学院に在学中の者は現在の学籍番号				
リーディングプログラムRAの採用実績の有無 (いずれかを で囲むこと)		有 ・ 無		

注1) 英語能力検定試験(TOEIC、TOEFL)を受験している場合のみ記入し、スコア等を証明する書類の写しを添えてください。

注2) 印欄は記入しないでください。

出 願 理 由 書

記入しないでください。

ふりがな
氏 名

「グローバル安全学トップリーダー育成プログラム」のアドミッション・ポリシーを熟読した上で、以下の(1)～(6)についてあなたの考えや思いを具体的にわかり易く書いてください(英語での記載も可能です)。(7)はこれまでの研究業績がある場合に記載してください。記入にあたっては各項目の枠内に収まるよう記載してください(フォントサイズ 10.5pt、日本語で記載の場合は 400 字程度まで、英語で記載の場合は 200 語程度までを目安として下さい)。

(1) 社会が求めるリーダー像とはどのようなものか、あなたの考えを書いてください。

(2) 本プログラムの履修に何を期待し、何を学びたいか書いてください。

(3) 本プログラム修了後のあなたの将来展望について書いてください。

(4) 異分野の研究者と交流することが、安全安心な社会構築にどのような視点から貢献できると思いますか。

(5) 自己の長所と短所を書いてください。

(6) 研究以外で直面した困難なことに対して、あなたはどのようにして乗り越えたかを書いてください。

(7) これまでの研究業績がある場合は、記載してください。

グローバル安全学トップリーダー育成プログラム責任者 殿

わたしは本リーディング大学院プログラムの趣旨を理解し、以下の学生を推薦します。

(推薦者氏名) _____ 印
署名または記名捺印

推 薦 書

合格研究科 (専攻)名	研究科 専攻	出願者氏名	
----------------	-----------	-------	--

大学院での受入れ予定教員（現在大学院に在籍している学生については、現在の指導教員）をご記入ください。「出願者の課題に取り組む姿勢はどうか」、「着想力やコミュニケーション能力はどうか」、「多様な分野で活躍するリーダーとしての将来性」を含めてください。ただし他大学からの大学院入学予定者については、入試成績及び面接評価等にもとづいて、全般的な評価をご記載ください。

この書類は、厳封して提出してください。